

高校生・事業者連携「経営課題支援策提案事業」 開催報告書

1. 内 容：市内に事業所を置く企業が高校生に対し、実際に抱える経営課題をご説明いただき、高校生が企業と一緒に、経営課題に対する実践できる検討策をグループで自主的・協力的に考え、企業へ提案を行う。
2. 目 的：キャリア教育の一環として、高校生の自立的で多様性のある人材育成を行う。
3. 参 加 者：尼崎市立尼崎双星高等学校・商業科3年生（14人×2チーム）
4. 事例協力企業：①コロンビア珈琲㈱ 代表取締役 岡崎広政氏（コーヒー豆の卸・販売業）
②(有)明優サービス 取締役専務 杉村優氏（家具等の配送業）
協力内容：下記をテーマに合計3回直接指導
9月 生徒へ企業概要・経営課題の提示
10月 会社見学・実地指導
11月～12月 改善策の検討・評価
5. 開催期間：同校課外事業（課題研究）を活用して実施 ※2学期 月曜日5・6限目、水曜日4限目
12月7日（月） 課題発表会

6. 実施結果：

経営課題① コロンビア珈琲㈱

課題テーマ：未来のコーヒーファンを作るために

取組内容：10代の珈琲需要の低さに対して、「なぜ、珈琲は人気がないのか」「どうすれば普及は進むのか」という課題を提案。

生徒は各自やグループでの珈琲研究や同級生へのアンケート調査を行い、若者に珈琲人気がない理由を「①大人が飲むイメージが強い」「②周知不足」「③若者の好みの味が少ない」という結果を導き出し、対策として、①は若者受けするロゴの作成（投票によるコンテスト形式で採用）、②はSNSとして若者に多く使用されるInstagramを使った周知や珈琲豆の店頭販売に学割制度を導入、③は高校生が飲みやすい新メニュー開発の企画・提案を行った。

その結果、同社では①のロゴは試験的に試飲用の紙コップ等に使用、②はInstagram開設・運用と期間限定の双星高校生徒のみの珈琲豆学割実施、③は生徒と岡崎社長によるオリジナル珈琲「180cc配合率珈琲 6：牛乳 4：砂糖 6g」の共同開発（商品化は未定）という結果に至った。



経営課題② (有)明優サービス

課題テーマ：商品入荷・出荷管理等の業務効率化

取組内容：同社では大手家具メーカーの協力会社として、家具の配送・取付けを行っているが、商品の入荷から配送・納品までの作業管理が旧態依然の方法で効率が悪い上に、積み忘れ・積み間違いなどのミスも多発しており、早期に改善へ取り組める対策という課題を提案。

生徒は、同社の業務実態を確認するため、倉庫に訪問し、現場のフローを確認した他、従業員に直接、課題を聞き取り。第1段階は業務のIT化を検討、すでに市場で出回っているアプリ等システムでの管理は取引先へも同じシステムの同時導入が必須となっており、見送り。現状でできることとして、商品を探す時間の短縮化について、商品入荷時の置く場所のルール作りとして仕切り線の導入、積み忘れ・積み間違いについては、商品を積むトラックごとに色で分けた荷受票を作成し、誤りが出ないようにすることを提案した。すでに改善案について同社では試験的に取り組んでいる。

